

クセ字はなおる! 基礎からの ボールペン字

美しい文字をめざす方に

最適のカリキュラムです

クセ字をなおすために大切なことは、「美しく書かれた手書き文字を見る」ことです。ただ見るだけではなく、長さや方向、筆順などを確認して読み取ることが必要です。そして、自分の文字と比べてどのように違うのかを把握しましょう。ぜひ、この講座を通して手書き文字を見つめ直し、クセ字を克服してください。そのお手伝いが少しでもできれば幸いです。



プロフィール

和田 康子
(講座監修・手本執筆)

5歳ごろより祖父、川内悠溪先生の手習いを受ける。藤田金治先生に師事し、現在、毛筆・硬筆指導をはじめ、題字揮毫ならびに国内外の書展にて幅広く活動。NHK学園「くらしのつづけ字」講座監修・手本執筆。「ペン字練習帳」シリーズ(新星出版社)、『はじめてのペン字練習帳』(成美堂出版)、『書き込み式ボールペン字』シリーズ(主婦と生活社)ほか著書多数。

スペインで美術館めぐりをして
名画をたくさん見て来ました。
憧れのゴヤの絵にうっとり感激。
この本は、お土産のしるしです。

和田



動画で分かる
DVD教材付き
コースも!

パンフレット
コード **A230**

18D-01

ポイント1 自分のクセを知ることが上達の近道！

誰にでも多少なりとも文字にクセがあります。自分では気がつきにくいそのクセを講師がレポート課題の「紙上カルテ」で拝見し、**パーソナルにアドバイス**します。自分のクセを踏まえた上で、意識して練習すると**効果絶大**。

直すところはココ！

紙上カルテ「文字書へ、お悩みに一対一アドバイス」

① 1画目の中心を、まの字の中心に合わせ、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。

② まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。

③ まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。

④ まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。

⑤ まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。まの字の中心を、まの字の中心に合わせる。

ポイント2 DVD教材だからわかる！映像を見ると、思わず書いてみたくなる

講座監修の和田康子先生がポイントを押さえながら解説します。それぞれの文字のコツは、**先生の手元アップの動画**でタップリ伝授。手に取るようにわかります。「ひらがな」は**5つの外形(文字の大きかな形)ごとに解説**します。

外形もわかり、目指す文字の形も一目瞭然

解説例①
2画目は、1画目のやや右側に出るように交わらせて折り返し、「し」を意識して書くとうまが整います。

解説例②
中心あたりに1画目の点を書き、そのまま4つの画はつながりをもたせて書くと美しい三角形ができます。

NHK学園のホームページで、テキストとDVDの一部をご覧いただけます！ [NHK学園 ポールペン字](#) 検索

かんきゅう
緩急のリズムや手の動かし方は、動画だからこそ伝えられる！



「ひらがな」は、説明しながら2回ずつ書きます

1回目
▲先生が説明しながら書きます

2回目
▲ポイントの図と並べてもう1度書きます

見事に美文字に変身！

右上がり強く、文字の懐が狭くなりがちだった横中哲男さんの例

Before (初回課題)

氏名	住所
横中哲男	所沢市北田 北 四、十三

After (第6回課題)

氏名	住所
横中哲男	所沢市北田 四、十三

先生のお手本を、ときには時間を置いて何度も繰り返し真似ることで、堂々とした文字を書くことができるようになりました。さらに上を目指してがんばります！

レポートでは毎回、縦書き・横書きでお名前や住所を書いてもらい、添削アドバイスをします。クセ字がなおってきたと多くの方が納得されています。



ふむふむ なるほど 学習の特徴 わくわく あっ、そうか

美文字のコツをすべて明かします！
テキスト・DVDで美しく見せるポイントを確認しながら、まずは「ひらがな」のなぞり書き。段々と上手く書けるよう工夫してあります。▼テキスト(一部)見本

外形ごとに学習するから覚えやすい！
ワークブックで徹底練習。ただ書くのではなく、テキスト・DVDで学んだポイントを頭に入れて練習します。

レポート課題は全6回！
テキスト・DVD、ワークブックでの反復学習のあとは、いよいよレポート課題に挑戦！パーソナルアドバイスが楽しみ。

お一人おひとりにあわせた丁寧な添削！
返却されたレポートで自己流文字の弱点を認識。講師の美しい文字と適切なアドバイスで「ヤル気」がでます！「おさらいコーナー」が好評です。

①ポイントを紹介

②外形を意識しながらなぞる

③一画目だけナビゲート

④外形内に収まるように書く

⑤自力で書く

ワークブック見本

文字のまとめ方に加え、八ガキの書式もわかる！

受講された皆様のメッセージ

「おさらいコーナー」の効果は絶大です。添削を見直して復習する習慣が付き、通信講座の効果的な学習法がわかりました。

(50代男性)

市販の本で自学しても効果が上がりませんでした。添削で自分では気付かないクセを指摘されるので上達を実感しています。

(30代女性)

初回の学習後、応用編を受講しました。詩や俳句を作品として仕上げる課題が楽しく、実用だけではないペン字の楽しみを見つけました。

(70代女性)

活字と手書き文字の違いを知りました。DVDを見ると手書きならではの緩急のつけ方や繊細な筆運びがわかり、大変勉強になります。

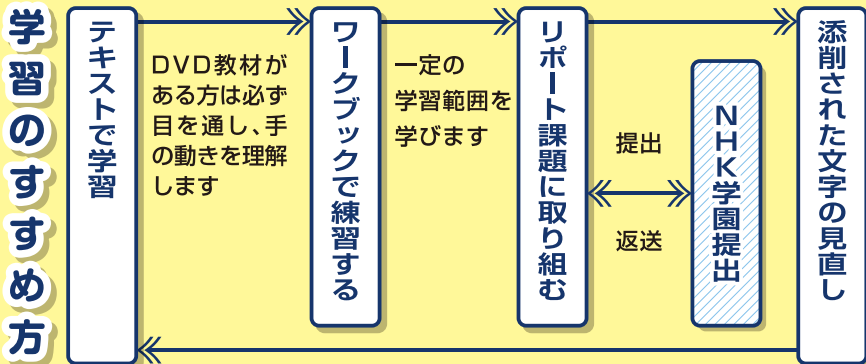
(40代女性)

DVDあり・なしコースが選べます！

コース番号	コース名		受講期間	無料延長期間	レポート回数	受講料(税込)
1L301A	基礎からのボールペン字	DVDありコース	6か月	9か月	6回	24,000円
1L301N	基礎からのボールペン字	DVDなしコース	6か月	9か月	6回	21,500円

※さらにレベルアップする応用編(2回目の学習)課題もご用意しております。受講料は21,000円(税込)です。

- 教材
- テキスト(1冊)
 - DVD(1枚)※DVDありコースのみ
 - ワークブック(4冊)
 - 硬筆用ソフト下敷(1枚)
 - ボールペン(1本)
 - レポート課題(1冊)
 - 機関誌(別送)ほか
- ★「DVDなしコース」でも学習は滞りなく進めることができます。



レポートが返送されたら、アドバイスされた内容をよく理解し、必ず「おさらい」をしましょう。その後、次の学習範囲に取り組み、再びレポート課題へと進みます。



NHK学園の添削はココが違う！

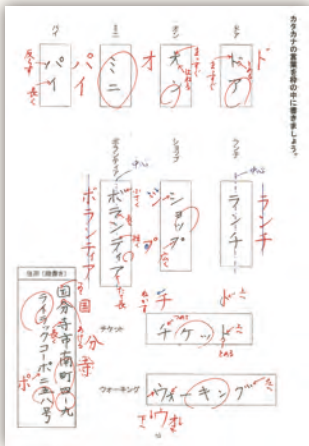
“おさらい”コーナーで苦手な文字を克服！

添削されたレポートを受け取り講師のアドバイスを讀んでも、そのままにしがちです。それでは苦手な文字の書き方がきちんと身につきません。おさらいすることが上達の秘訣なのです！



カタカナの課題に挑戦！うまく書けたかな？

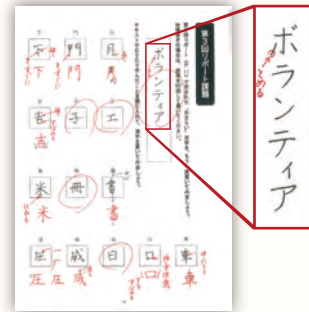
第2回レポート課題より



この文字を復習！

ポランテイア

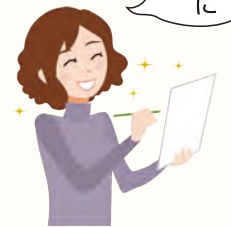
講師が講評のほか、その回の課題の中からおさらい文字や語句を提示。復習して次回に再チャレンジ！



文字がまっすぐで、たいへんバランスよくなりました！ポの三画目はとめます。

おさらいして書いたら、先生にほめられた！

次回のレポート課題では、前回のおさらいから書き始めます。このおさらい=反復練習をすることにより苦手な文字も克服！



受講お申込方法 さあ、始めましょう！

- 受講お申込は、①受講申込はがき(通常はがきでも結構です) ②お電話 ③FAX ④NHK学園ホームページのいずれかで承ります。
- お申込確認後、1週間から10日ほどで教材をお届けします。
- お支払いは、郵便局・コンビニエンスストア・銀行から払い込みいただく方法と、一部クレジットカードがご利用いただけます。

お申込はこちらまで

〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2 NHK学園 受講者係

TEL 0120-06-8881*

FAX 042-574-1006

HP NHK学園生涯学習

検索

<http://www.n-gaku.jp/life/>

講座内容についてのお問い合わせは、こちらで受け付けております。042-572-3151(代) ※(※9:30~12:00・13:00~17:30受付、土日祝・年末年始他休業日を除く。)

※本パンフレットの情報は2019年1月現在のもので、予告なく、教材イメージやラインナップ、受講料等を変更する場合があります。予めご了承ください。※NHK学園の個人情報の取扱に関する詳細は、ホームページにてご確認ください。※本パンフレットに掲載の記事、写真、イラストレーションのすべては著作権で保護されています。無断複製、転載を禁じます。